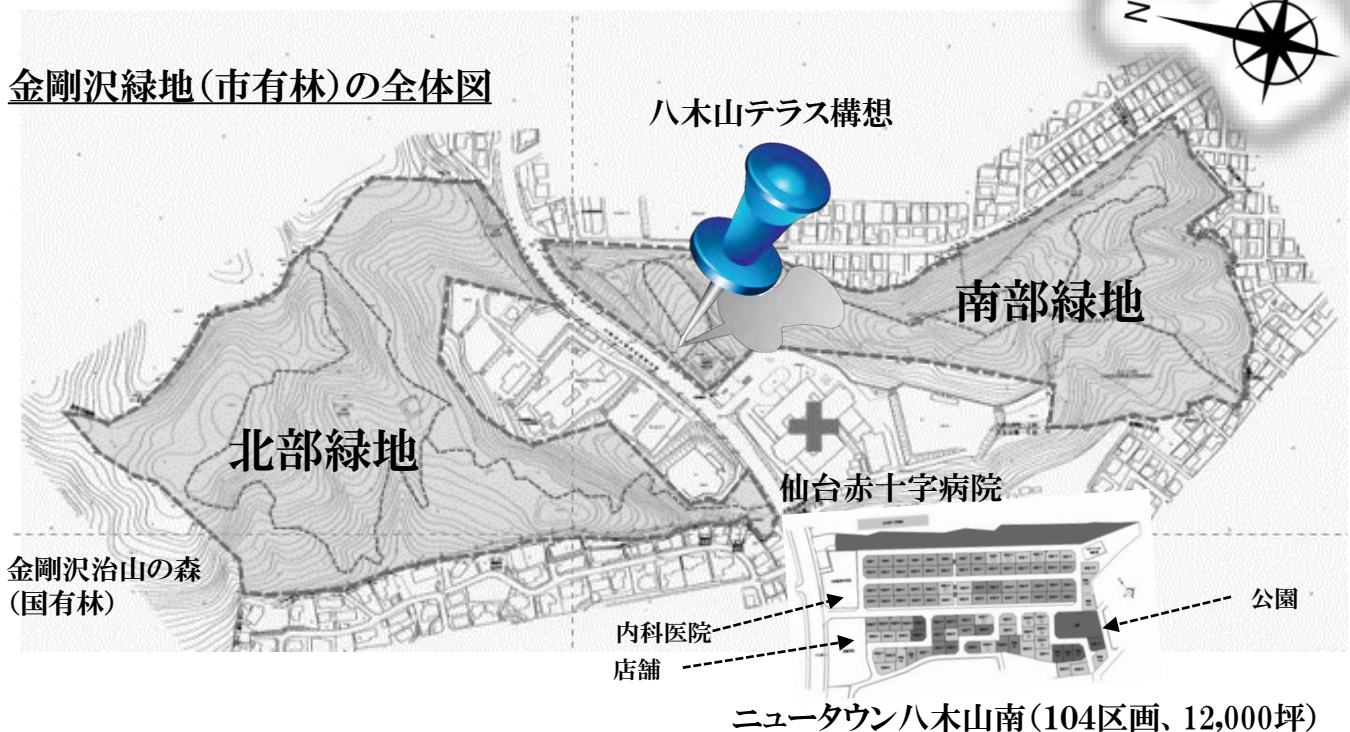


「八木山テラス」について

～金剛沢緑地愛護協力会の取り組みの概要～

- 1、金剛沢緑地の位置関係
- 2、金剛沢緑地愛護協力会会則
- 3、金剛沢緑地愛護協力会会員名簿
- 4、金剛沢緑地愛護協力会の立ち位置
- 5、金剛沢緑地の現状(南部緑地)
- 6、みんなで育てる「八木山テラス」構想(+緑の環境プラン大賞への応募)
- 7、テラス候補地の概観
- 8、八木山テラスのイメージ
- 9、育てる八木山テラス
- 10、育てる八木山テラスの体制づくりとMovement
- 11、スケジュール

金剛沢緑地(市有林)の全体図



金剛沢緑地の位置関係(3連合町内会隣接)



(Google上で)住居表示での位置関係

金剛沢緑地愛護協力会則

(名称)

第1条 この会は、仙台市金剛沢緑地愛護協力会(以下「協力会」という。)という。

(目的)

第2条 協力会は金剛沢緑地の維持管理に協力し、会員相互の親睦融和をはかりもって、地域福祉の向上発展に寄与することを目的とする。

(会員)

第3条 協力会の会員は前条の趣旨に賛同する町内会、婦人会、老人クラブ、子供会等の会員をもって組織する。

(協力会の活動内容)

第4条 協力会は目的達成のため、次の活動を行う。

- (1) 公園愛護思想の普及。
- (2) 遊具等公園施設の利用についての指導。
- (3) 公園の除草清掃と樹木、遊具等の愛護。
- (4) 公園施設等の点検連絡。
- (5) その他協力会の目的達成のために必要な活動。

(役員)

第5条 協力会には会長、副会長、会計をおく。会長は会を統括する。

(役員任期)

第6条 役員任期は1年とする。ただし、再任を妨げない。

(経費)

第7条 協力会の経費は協力会報償金及び寄付金をもってあてる。

(附則) この会則は、令和2年4月1日から実施する。

上記会則(ひな形準拠)に特に補足する事項は次の通りです。

①愛護協力会は、金剛沢緑地の「快適な緑地」と「快適なハイキングコース」を維持することを主たる目的とする

②金剛沢緑地愛護協力会は、八木山まちづくり研究会の「だれもが住みたくなるまちづくり」と協働して、より「だれもが行きたくなるまちづくり」を活動の中心テーマとする。

③金剛沢緑地愛護協力会は、全体の地域包括ケアシステムの取り組みと連携・協働する。

④会員は有志のメンバーで構成し、単なる充て職での組織構成とはしない。

⑤金剛沢緑地愛護協力会の取り組みは、八木山に住む住人のためという地域限定の取り組みではなく、大きくは仙台市民をを対象とする(八木山を「仙台の八木山」とする)。

八木山地区のまちづくり
＝地域福祉の向上

八木山まちづくり研究会

→「だれもが住みたくなる“まち”」づくり Comfortable city

■八木山ハーブまちづくりプロジェクト

2018年4月から「仙台市協同まちづくり推進助成事業」を受けてハーブを活用したまちづくり推進活動

〈コンセプト〉

空き地の活用、ハーブ栽培を核に
地域包括ケアシステムのスムーズな構築を目指す

- ハーブ講習会
- 町内会・事業所・学校・公園等にハーブ植栽
- 仙台城南高校下にハーブ植栽(ラベンダー公園)
- ロゴマークの作成 ■ハーブ料理講習会
- ハーブモノづくり講習会 ■ハーブ里親制度

■青山地区交通検討会

4月1日からバスが運行すること
になって目的は達成、今後の課題は継続

■「八木山みんなのカフェ」

■金剛沢の森検討会

||
「金剛沢緑地愛護協会」
・R2年4月1日付け届け出
・認可

■てっぺん広場初日の出写真コンクール

■地域福祉のための新たな取り組み



だれもが行きたくなる“まち”づくり
Attractive city
“八木山テラス”構想

地域福祉

だれもが住みたくなるまちづくり
快適なまち(Comfortable City)



だれもが行きたくなるまちづくり
魅力的なまち Attractive city
“八木山テラス”構想

金剛沢緑地の現状(南部緑地)

南部緑地は平坦地と緩斜面の緑地



「みんなで育てる八木山テラス」構想(+緑の環境プラン大賞への応募)

八木山まちづくり研究会の「だれもが住みたくなるまちづくり」と協働し、「だれもが行きたくなるまちづくり」(Attractive)を目標に、通常の愛護会活動に加え、ボランティア活動や助成金などを活用しながら、住民も参加して「みんなで育てる八木山テラス」を作り、地域福祉活動のプラットフォームとしたい。

金剛沢緑地(南部緑地)に地域福祉活動・自然愛護活動のプラットフォームとして「八木山テラス」を構築したい

- 日赤わきの桜を植樹した緑地(南部緑地)に「八木山テラス」を構想
- まちづくり研究会の「誰もが住みたくなるまち=comfortable city」+「誰もが行きたくなるまち=Attractive city」→誰も行きたくなる公園(テラス)を創る
- 地域福祉活動の拠点・金剛沢緑地愛護活動の中心拠点
- 太白区・連合町内会・まちづくり研究会・仙台赤十字病院・老人クラブ連合会・小中学校・市民センター・八木山地域包括支援センター等の各機関と連携
- 太白区協働まちづくり事業助成金 299,400円の決定

八木山テラスは、仙台市民みんなが憩い、楽しみ、かつ自然学習の場として、仙台赤十字病院に隣接する金剛沢緑地(南部緑地)に、テラス施設を作るものであり、その活用は無限にある。

- ・日赤病院患者さんが散策することによる森林セラピー
- ・小中学校の自然学習とボランティア精神涵養(老人クラブと協同)
(ラベンダーの植栽とラベンダースティック作成・患者さんや特老・老健施設などへの寄贈)
- ・ハイキングコース途中での休憩の場
- ・野外音楽会(ミニコンサート)
- ・花見(すでに植栽している桜や今後湿地に植栽するリュウキンカ・アヤメなど)
- ・地産販売(やるっちゃ坪沼や地域農家との連携)

●金剛沢緑地という貴重な自然を最大限活用するために、緑の環境プラン大賞「シンボル・ガーデン」部門にも応募

緑の環境プラン大賞

公益財団法人都市緑化機構および第一生命保険株式会社では、緑豊かな都市環境の形成を図るとともに、生活の質の向上やコミュニティの醸成等に役立つことを願い、1990年に「緑のデザイン賞」を創設し、緑化プラン実現のための助成を開始しました。その後、環境への配慮といった時代の要請に一層応えるべく、2009年度に「緑の環境デザイン賞」と改称し、都市の環境共生に必要な緑地機能を新たな評価基準として加え、深刻化している環境問題への対応を図ってきました。

緑の環境プラン大賞では、800万円を上限に助成するシンボル・ガーデン部門と、100万円を上限に助成するポケット・ガーデン部門の2つの部門で作品を募集します。

- ・募集期間 4月1日～6月30日
- ・受賞者数 3件程度

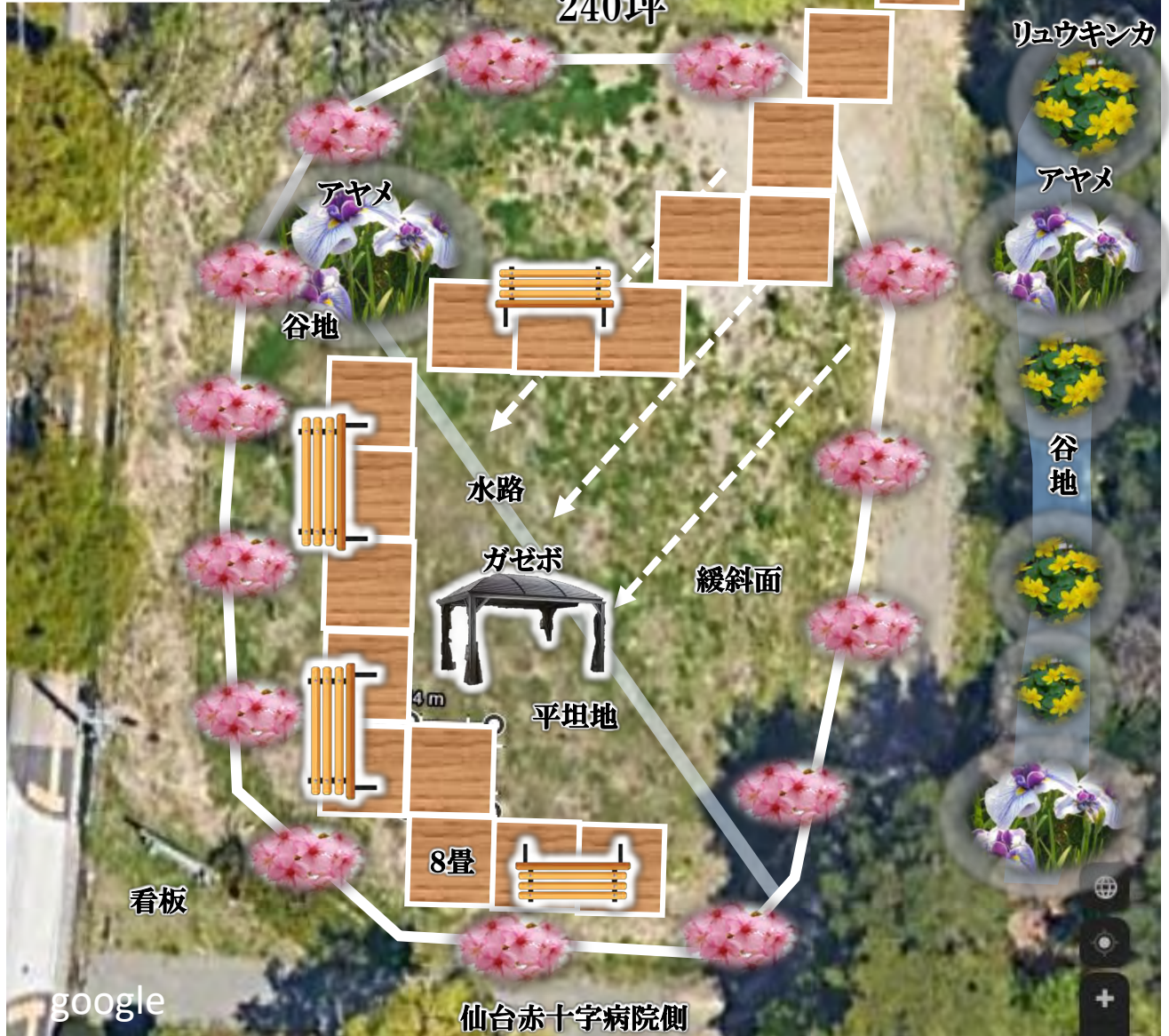
●応募は設計積算・各種団体とのアライアンスの時間的余裕が必要なために、令和3年に行うことにしたい


八木山テラス候補地の概観



Google上での8畳の面積

八木山テラスの完成イメージ




 ゴーグル地図上での8畳(13.2㎡)の大きさ
 ※イメージとサイズ感のために配置

育てる八木山テラス

人間は他人や事柄と「かかわる」ことなしに生きていくことは出来ない。「かかわる」ことで、人生の生き甲斐ややりがい生まれる。「八木山テラス」も、そういった意味で生き甲斐・やりがい創造の場として、いろんな人のかかわりから「育てる八木山テラス」(≒地域福祉のプラットホーム)として育てたい。

●ラベンダー育成(地域包括ケアシステム)

愛護協力会+地域ボランティアによるラベンダーの育成とステックの作成



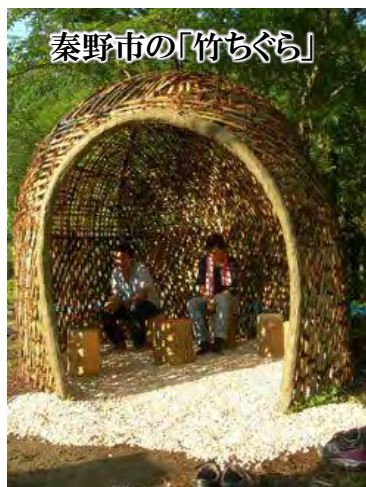
★仙台赤十字病院や特老「翠風苑」等への寄贈

★除伐された松を利用

★福祉のmovementを考えたときに、ハーブの中でもラベンダーが最適

●サンシェードの作成(ボランティア・創造の心の涵養で憩いの場の形成)

令和2年度は協力会メンバーで大中小3個程度作成し、ノウハウを蓄積するが、次回からは孟宗竹の寄贈を含めてボランティアで行うこととしたい。



★2~3年ごとに更改することによって放置竹林の解消にもある程度役立てることができる

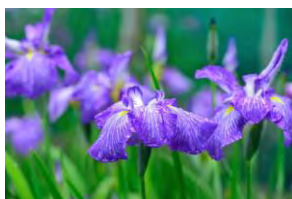
●手作りベンチの製作

手作りベンチの製作
(エニーサイズチェア)
・3個程度
(サンシェードと同じ)
・2×4材



●アヤメ畑(魅せる緑地)

現在は葦茫々の谷地を整備してアヤメ・リュウキンカ畑にして花を楽しんでいただく(令和2年度は谷地に除草剤を撒き葦の除去をメインとする)



育てる八木山テラスの体制づくりとmovement

現在の会員構成

- ・八木山連合町内会(6,217世帯)
- ・八木山南連合町内会(1,000世帯)
- ・西多賀連合町内会(4,532世帯)
- ・東北工業大学
- ・向山こども園
- ・八木山地区社会福祉協議会
- ・八木山地区包括支援センター
- ・青葉山・八木山フットパスの会
- ・八木山自然を探る会
- ・八木山地区まちづくり研究会
- ・八木山防災連絡会
- ・八木山おやじの会
- ・八木山地区民生委員児童委員協議会 他

※世帯数は「令和2年度町内会活動の手引き」より

今後働きかけを行う団体

- ・八木山地区老人クラブ連合会
- ・東北放送
- ・八木山小学校
- ・八木山中学校
- ・城南高校
- ・仙台西高校
- ・・・・ etc.

- ・「緑地部分」や「散策路」の整備活動をするうえで連携が不可欠な団体はすでになが主要メンバーになっている。
- ・金剛沢緑地愛護協力が目指すものは、「みんなで育てる八木山テラス」を通しての地域福祉の向上にある。そのためには、地域住民の参加が必要不可欠で、広報を通じてボランティアを募集することを考えている。
- ・また、貴重な大自然を八木山に閉じ込めておくことは本意ではないし、情報発信を通じて「仙台の金剛沢緑地」「仙台の八木山テラス」を目指し大きな福祉のmovementを起こすことができればと考えている。そのことによって参加者のやりがいと生きがいを創造することができると思う。

Movement構想

八木山地区

仙台

宮城→日本

広報誌(チラシ)の発行

- 3連合町内会住民対象(約1.3万部)
- ・構想のPR
- ・ボランティア募集
- ・イベント周知

広報誌掲載

- ・市政だより
- ・百杜通信
- ・フリーペーパー(宮城シルバーネット・河北ウィークリー等)



- ・HP
- ・FACEBOOK
- ・INSTAGRAM

Etc.

スケジュール

実施時期	実施内容
4月	4月1日 金剛沢緑地緑地愛護協力会設立
5月	5月13/15日 南部緑地除草 5月29/31日 北部緑地除草
6月	6月10日 金剛沢緑地緑地愛護協力会総会 6月17日 設計積算・パース作成依頼 6月22日 太白区まちづくり助成金応募
7月	7月2日 金剛沢緑地の遊歩道・緑地整備前総点検 7月4日 太白区まちづくり助成金プレゼン 7月17日 助成金の決定(299,400円) 7月19日 八木山テラス候補地・南部緑地金剛沢東口除草
8月	8月3日 テラス候補地除草剤散布・草刈り 8月盆明け 金剛沢緑地愛護協力会打ち合わせ HP/FACEBOOKで情報発信 協力団体等への説明
9月	9月4日 竹ちぐらの試作 東北工業大学・向山こども園とのアライアンス チラシ作成 9月27日 散策路の草刈り
10月	チラシの配布 緑地部分の草刈り
11月	サンシェードの製作 ベンチの製作 ラベンダー畑の造成
12月	八木山テラス構想の検討(緑の環境プラン応募プラン)
1月	次年度計画作成 区まちづくり助成金応募準備
2月	
3月	八木山テラス構想のとりまとめ(緑の環境プラン応募プラン)

